

区や集落単位を超えた、新しい地域組織はできないか

今の区・集落はそれぞれの意味合いをもっている
ので、問題ごとに取り上げます



小林市子 議員

質問 新しい住民活動組織や、複数の区や集落からなる地域活動はできないか。

答弁 それらが必要になれば考えます。今の区や集落による取組みが十分なら、出てきた課題ごとに取り上げます。

質問 複数の区・集落が協働で対応し、解決するような地域コミュニティを作れないか。また協働のあり方についての研究ができないか。

答弁 区・集落組合長や、それぞれの関係者に機会を見て意見をお聞きして進めます。ただし各区・集落にはそれぞれ違う事情・考え方があるので、それらの多様性を見極めて進めることになります。

質問 区・集落を超えた地域性を生かす支援や、リーダーの育成を。

答弁 色々な分野をまたぐプロジェクトチームを作るのも一案です。空き家などを利用した活動場所づくりなど、行政の出番があればやります。

○その他の質問事項
・生活環境について

矢嶋町政、 2期8年間の総括は

開発公社の再生策で
町民の負担を軽く



五味 滋 議員

質問 矢嶋町政について、2期8年間の総括は。

答弁 開発公社の借金を洗い出し、ごく狭い再生の道を探り出したこと。関係機関との粘り強い交渉のうえ、71億円の根拠当をはずし損失補償額を大幅に下げ、万一の場合にも町民にかかる負担を少なくしたこと。高齢者の安心施設づくり（清泉荘）、年少者の安心として医療費の無料化、学童保育、危機管理への備えとして同報無線、集落ごとの防災組織、役場職員

の意識の改革などがあります。そのほか、特産品開発への啓発、希少植物の保護、農業関係では、高齢化の農業を生かすため、そば粉の導入、直播の導入、融資利子の負担をやってきました。

質問 今後、町の発展に必要なポイントについてどう考えるか。

答弁 町が背負っている荷物を少しでも軽くすること、力を注ぎながら、前向きな課題に取り組むことに全力を挙げます。大まかにいって、生産年齢人口を増やすこと、青年層が定着してくれば解決する課題が数多くあると思います。そのため、に少子化対策、子育て支援、産業振興・企業誘致、安全安心というような幅広い施策が必要だと考えています。

○その他の質問事項
・美しい町づくりと植樹
・南アルプス世界遺産と
リニアルート

について